

Ⅱ. 後期基本計画

施策60 協働の推進

施策の目指す姿

地域社会の様々な分野において、市民、団体、事業者及び市などの多様な主体が連携・協働してまちづくりに取り組んでいます。

施策の現状

人口減少や高齢化社会の進行により、地域のつながりが希薄化するなど、地域コミュニティを取り巻く環境が大きく変化する中、狭山市協働ガイドラインに基づき、市民と市との協働を推進し、行政提案型協働事業と市民提案型協働事業を実施するとともに、さやま市民大学において、地域の課題を解決するための人材育成やその人材を活かす仕組みづくりにも取り組み、修了生を中心として結成された団体などによる子育て支援や地域福祉などに関するまちづくり活動を進めてきました。

このような中、平成31年4月に「協働によるまちづくり条例」を施行し、より多くの市民とともに多様な主体がともに力を合わせ、協働の理念のもと、より良いまちづくりを推進しています。

令和元年度には、地域の課題解決に向けてNPO法人などとの協働事業を実施し、多様な主体が地域の課題を共有するワークショップ形式による意見交換を行うなど、協働によるまちづくりの推進に向けた取り組みが着実に進んでいます。

施策の課題

- 心豊かで活力に満ちた地域社会を実現するため、多様な主体がまちづくりを自分事として考え、具体的に行動するための環境づくりが必要です。

主なとりくみ

(1) 協働によるまちづくりを推進する仕組みの整備

- 地域課題の解決や協働によるまちづくりを推進するため、市民、団体、事業者及び市などが、事業推進のために必要とする人材、活動拠点及び活動資金などの情報を蓄積し紹介する中間支援機能を充実させ、協働によるまちづくりに取り組む多様な主体の連携を促進し、活動をサポートします。

(2) 協働によるまちづくりに関する情報提供の推進

- 協働の担い手の裾野を拡大し、協働によるまちづくりを推進するため、市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」※¹などを活用して、協働に必要な情報を一元化し、多くの市民が協働事業に参画しやすい環境を整えます。

(3) 協働によるまちづくりを担う人材の育成と人材を活かす仕組みづくりの推進

- さやま市民大学を拠点として、協働の担い手となる人材の育成とその人材を活かす仕組みづくりを推進します。

施策の成果目標

項 目	実績値	目標値
	令和元年度	令和7年度
NPO等との協働による事業の実施件数	80件	80件

市民・団体・事業者などに期待する協働による行動

- 協働によるまちづくりに積極的に取り組みましょう。
- さやま市民大学で学び、その成果をまちづくりに活かしましょう。
- 協働によるまちづくりを推進するためのワークショップに参加しましょう。

関連するSDGsのゴール

- ゴール11 住み続けられるまちづくりを
- ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう



※1 市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」とは

市の公式ホームページとは別に、地域に特化した行政情報と民間情報を一か所に集約し、自宅のパソコンや携帯電話から同時に閲覧でき、市民側からの情報提供なども可能な双方向性を持ったシステムのこと。